

この資料に Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) を通してサンプル スпам メッセージの送信によって反スパム セットアップをテストする方法を説明されています。最初に、反スパムがサーバで有効になることを確かめる必要があります。次にこれは Web インターフェイスへのログオンし、「セキュリティ サービス タブ 選択することによって「を反スパム」確認することができ、確かめます有効になることを。また着信メール ポリシーに有効になる反スパム設定があることを確かめて下さい。ポリシーのそして「着信メール ポリシーを郵送することを行くことによって「それを確認できハイパーリンクをクリックして反スパムの下でポリシー スпам設定を修正します。

スパム メッセージの適切な行動を奪取 するために着信メール ポリシーを設定した後 ESA の CLI にログオンして下さい。「X アドバタイズメントが付いているサンプル スпам メッセージを生成しようと思っています: スпам」メール メッセージのヘッダ。ポート 25 および下記の例で示されている開始 SMTP メッセージ交換のアプライアンスへの Telnet。

メッセージを入れて来視聴するように ESA の CLI の「末尾 mail_logs」を打ち込めば出力はそれのように下記のように示されています何かを見える必要があります:

メール ログの結果はメッセージが肯定的なスパムとして識別され、反スパム 着信メール ポリシーで定義されたように廃棄されたことを示します。ESA が反スパム設定で定義されたように適切な行動を奪取していることを確認して下さい。